



種まき通信

第 31 号 編集・発行：田根地区・地域づくり協議会（愛称：種まき塾）
2019. 11 長浜市高畑町 316-1 田根まちづくりセンター内 Tel.74-1450
ホームページ：http://tane.shiga-saku.net/

通学合宿
無事終了！
活動部会長 高田美智男

去る九月二六日から二泊三日の日程で五年生七人、六年生一五人の二二人を三班に分け、第六回田根っこ通学合宿を開催しました。

児童は通学合宿のねらい「自らの手による衣食住の生活体験を通して生活技能を体得するとともに、お互いの立場や役割を理解し、協力し合ってよりよく生活することができるよう生活する」とするに沿って九月二二日、学生ボランティアの指導の下、目標を決めました。

合宿中の主なイベント

二十六日 木曜日

■中学生との交流会

今年の四月に浅井中学校に入学した四人のみなさん



9/26、みんなでいっしょに夕食準備

に中学校生活を紹介していただきました。事前に何回か集まり、交流会の計画を立ててくれました。児童は一日の流れや部活動、クラブ活動、行事のプレゼンテーション画面に見入ったり、持参してくれた教科書や卓球のラケットを手にしたり、制服や運動着を見たりして中学校生活を思い描いていました。

■紙飛行機を飛ばそう

用意した紙飛行機を提示し、折り方のプリントを配った後、紙飛行機を作ってもらい、飛ばして箱に入れば得点になる活動を楽しんでもらいました。

得点は三回の試技後、班

別、個人別に集計しました。

二十七日 金曜日

■和菓子作り

米原市の常喜屋（じょうきや）さんの指導で和菓子作りを体験しました。クリーム色とピンクの生地を棒状に丸めてから合体させ、少しずつ伸ばして円盤状にし、アンを包んでパーパーナフキンで絞ると和菓子「練りきり」ができあがりました。初めてとは思えない出来栄えにどの子も喜んでいました。お菓子はその場でいただきました。

■ドミノ倒し

試技は三回。一回目は分岐なしで直線、曲線に、二回目は五カ所以上の分岐を作り、三回目は独自に配置を考え、て並べます。四人の審査員の方に成功度、芸術度、班の団結度を試技ごとに審査していただき順位を決めました。

どの班もすばらしい出来栄でした。



9/28、「まよめの集い」で活動報告

二十八日 土曜日

波久奴神社で神主様から参拝の仕方をお聞きし、玉串の献げ方を学びました。

朝食後、田根まちづくりセンター内を分担して掃除をしました。まよめの集いでは力を合わせることでできたなど合宿を振り返ってくれました。

多くの方の協力のもと、無事に合宿を終えられましたことに感謝します。

地域課題の解決に向けて

田根地区・地域づくり協議会 会長 片桐 一彦

令和元年度田根連合自治会長の職を務めさせていただいております小室町の片桐一彦です。

平素は田根地区・地域づくり協議会並びに田根連合自治会の活動に格段のご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年度、長浜市連合自治会で実施されました「人口推計調査分析報告書」によりまずと、人口減少・少子高齢化により、空き家・空き地の増加、自治会活動の弱体化、伝統行事・イベントの担い手不足が深刻となり、人口ビジョンの共有化や地域課題の整理、自治会の区域や自治会と地域づくり協議会の関係など地域自治の体制強化を議論して、地域づくりを進めてゆく

必要があると報告しています。

今回、長浜市連合自治会が支援する「人口減少・高齢化を見据えた課題解決のための取組み支援事業」に、田根地区・地域づくり協議会と田根連合自治会では、「空き家ネットワーク化事業」として取り組むことになりました。

従来から地域づくり協議会で空き家問題に取り組んでいる事業を継続し、多様な団体と協働しながら「地域課題」と散在する「空き家」のネットワーク化をはかり、持続可能な空き家対策に取り組んでいく予定です。

また、交通安全対策事業として、田根小学校正門前にいて登校時に最高速度制限を超えて走る車両が多く、道



幅が狭くて大変危険ということから「交通安全看板」が地域づくり協議会の事業として設置されました。

九月には通学合宿も実施され、田根小学校を中心とした住民間のコミュニティ、そして子どもたちには自主性や協調性を高める貴重な体験活動に参加してもらいました。

地域課題の解決は、「田根をより良くしたい」という思いと、地域に住む人々の交流、心のふれあいから始まりま

す。今後とも、地域課題解決の一助として種まき塾への積極的なご参加・ご協力をお願いいたします。

虎高×慶大ワークショップ

若者たちによる知の拠点づくり！

慶應義塾大学小林研究会 小関

八月五、六日の二日間、虎姫高校生ワークショップを「きゃんせの場」で行いました。二階の土壁を塗り上げた昨年とは違い、今年の課題は一階の水道横に大きなカウンターテーブルを作成するというもの。



完成したばかりのカウンターテーブル

一日目は小林先生のレクチャー後、午後から水道横の掃除を皮切りに作業がスタート。その後は土台作りの為に長さを測って木材を切り出していくという、地道な作業を黙々と続けるうちにあっという間に夕方になり、一日目は終了。

一日目の途中には、二年前のワークショップのメンバーで、現在は大学で建築の勉強をしている虎姫高校OBも手伝いに来てくれました。継続することで生まれる繋がりには本当に嬉しいものです。

そして二日目。一日目の疲れも見せず、誰一人遅刻せず一〇時には



使い勝手もバッチリ

「きゃんせの場」に全員集合してくれました。

二日目は実際に設置する作業です。一日目に切り出しておいた大きな天板に、同じく一日目に綺麗にしておいた食器棚を乗せ、四苦八苦しながらも上手く固定して迫力満点のカウンターテーブルが完成。テーブルが完成すると実際に座ってみたり食器棚を使ってみたりと、作業中の険しい表情から一転、高校生達に笑顔が見られました。



ものづくりを通して交流を深めた慶大生と虎校生

最後は感想を求められて高校生が誰も手を上げないことに對して、小林先生から「存在を証明する為に意見を持つことは大切」という指導を受ける番外編レクチャーも。

地道な作業の大切さと自分たちで作ったモノが完成した時の喜び、そして大人としての大事な姿勢、たくさん学びが増えたワークショップだったのではないのでしょうか。

大交流会

田根・坐・ガーデン

毎年恒例、夏の風物詩「田根・坐・ガーデン」が今年も「きゃんせの場」にて開催されました。

小林先生をはじめとする慶應の学生と地元の方々が集まり、今後の方針について議論を重ね、お互いの意見を交換。



「空き家活用」を中心に、今後の活動について話し合い



恒例の焼きそば、つくる側も手慣れたもの

その後のバーベキューでも、名物のジビエやかき氷、お酒などを片手に、普段田根を訪れていない慶應の学生と地元の方がお話しする場面も見られました。

例年よりも小規模での開催となりましたが、その分密度の濃い時間を過ごすことができました。



代々引き継がれる看板

不法投棄をなくそう

安全環境部会
部会長 高田美智男

安全環境部会で不法投棄問題に取り組んでいます。

この問題についてはこれまで取り上げられ、不法投棄防止を呼びかけるデザインを田根小生に描いてもらい、看板にして設置してきました。しかし、あちこからまだまだ不法投棄があるとの報告があり、部会として現状を知ろうと四月二九日に見て回りました。



「須賀谷一瓜生」間の不法投棄現場

田根の環境を守ろう！ 不法投棄パトロール中！

田根地域づくり協議会・安全環境部会

新たに作成したパトロール用シート

部会では「不法投棄パトロール中！」のシートを作成し、軽トラックに貼り付けて巡回することにしました（写真右）。十月からパトロールを実施しています。

また、田根の環境を守るため、田根地域の皆さんに不法投棄されている現場を見ていただく機会を計画するなど、この問題にどのように取り組んでいくか、考えていきたいと思っています。